

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2014年第15週
(4月7日～4月13日)

- * 2014年4月16日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<http://survey.tokyo-eiken.go.jp/>
- * 今週は月報告(2014年3月)の疾患及び感染症豆知識
「予防接種基本計画」も掲載しています。

平成26(2014)年4月17日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話 : 03-3363-3213(直通)
FAX : 03-5332-7365
e-mail : idsc@tokyo-eiken.go.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2014年15週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		12週	13週	14週	15週	年累計	15週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	51	76	61	78	917	347	6,301
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 *1							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
指定	鳥インフルエンザ(H7N9) *2							
三類	コレラ							
	細菌性赤痢		1	2	1	7	2	28
	腸管出血性大腸菌感染症	2	2	1	9	22	68	191
	腸チフス	2	1			8		13
	パラチフス					1		2
四類	E型肝炎		2	3		12	2	42
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎		3	1	1	14	10	274
	エキノコックス症							3
	黄熱							
	オウム病					2		6
	オムスク出血熱							
	回帰熱							
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘							
	重症熱性血小板減少症候群 *3						1	5
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱		1	1		2		4
	つつが虫病					2	1	29
	デング熱	1	1		1	11	7	46
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								
ニパウイルス感染症								
日本紅斑熱							13	
日本脳炎								

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		12週	13週	14週	15週	年累計	15週	年累計
四 類	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症	1				2		4
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							1
	マラリア	2		1		6	2	18
	野兔病							
	ライム病							
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	1	1	3	1	26	11	257
	レプトスピラ症				1	1		5
ロッキー山紅斑熱								
2014/4/16集計								

*1 病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 2013年5月6日より新たに追加指定された。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。2013年3月4日より新たに追加指定された。

(全数把握対象疾患のコメント・一類～四類)

〈二類感染症〉

結核 78件 肺結核 39件、その他の結核 11件、肺結核及びその他の結核 1件、無症状病原体保有者 23件、疑似症 4件、年齢は10歳未満 1件、10代 1件、20代 15件、30代 12件、40代 7件、50代 7件、60代 12件、70代 9件、80代 11件、90歳以上 3件、推定感染地は国内 75件、国外 2件(ミャンマー 1件、韓国 1件)、不明 1件であった。

〈三類感染症〉

細菌性赤痢 1件 患者、年齢は50代、菌種はソンネ、推定感染地はベトナム、推定感染経路は経口感染であった。

腸管出血性大腸菌感染症 9件 患者 9件(うちHUS 1件)、血清型・毒素型はO157 VT1・VT2 7件、O157(VT型不明) 1件、血清型不明VT1・VT2 1件、年齢は10歳未満 2件(うち5歳未満 1件)、20代 4件、30代 2件、60代 1件、推定感染地は国内 9件、推定感染経路は経口感染 3件、経口感染又はその他 2件、不明 4件であり、8件は馬肉の喫食歴があった。

〈四類感染症〉

A型肝炎 1件 患者、年齢は90歳以上、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

デング熱 1件 患者、年齢は50代、推定感染地はスリランカであった。

レジオネラ症 1件 肺炎型、年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

レプトスピラ症 1件 患者、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は動物・蚊・昆虫(ネズミ)からの感染であった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2014年15週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		12週	13週	14週	15週	年累計	15週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢	3	4	5	8	57	18	282
	ウイルス性肝炎 (A型・E型を除く)		1			13	1	64
	急性脳炎 *1	1				15	1	155
	クリプトスポリジウム症					4		7
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1		1		3	1	40
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	1		14	4	76
	後天性免疫不全症候群	7	16	6	6	130	8	353
	ジアルジア症			2	1	7	2	19
	侵襲性インフルエンザ菌感染症 *2				1	5	3	58
	侵襲性髄膜炎菌感染症 *2	1				3		15
	侵襲性肺炎球菌感染症 *2	2	5	9	6	65	19	547
	先天性風しん症候群					3		8
	梅毒	3	10	6	9	111	18	366
	破傷風					4	2	22
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					3	1	14
	風しん	3	3	5	2	43	3	146
麻しん	4	11	2	8	54	14	274	
2014/4/16集計								

*1 ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

*2 2013年4月1日より新たに追加指定された。

（全数把握対象疾患のコメント・五類）

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 8件 腸管 7件、腸管及び腸管外 1件、年齢は20代 2件、30代 1件、40代 4件、60代 1件、推定感染地は国内 6件、中国又はベトナム 1件、国内又は国外(渡航先不明) 1件、推定感染経路は同性間性的接触 2件、経口感染 1件、不明 5件であった。

後天性免疫不全症候群 6件 無症候キャリア 5件、その他 1件、年齢は20代 2件、30代 1件、40代 3件、推定感染地は国内 5件、不明 1件、推定感染経路は同性間性的接触 6件であった。

ジアルジア症 1件 年齢は10代、推定感染地はインド、推定感染経路は経口感染であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 患者、年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染、ヒブワクチン接種歴は不明、患者は死亡が確認された。

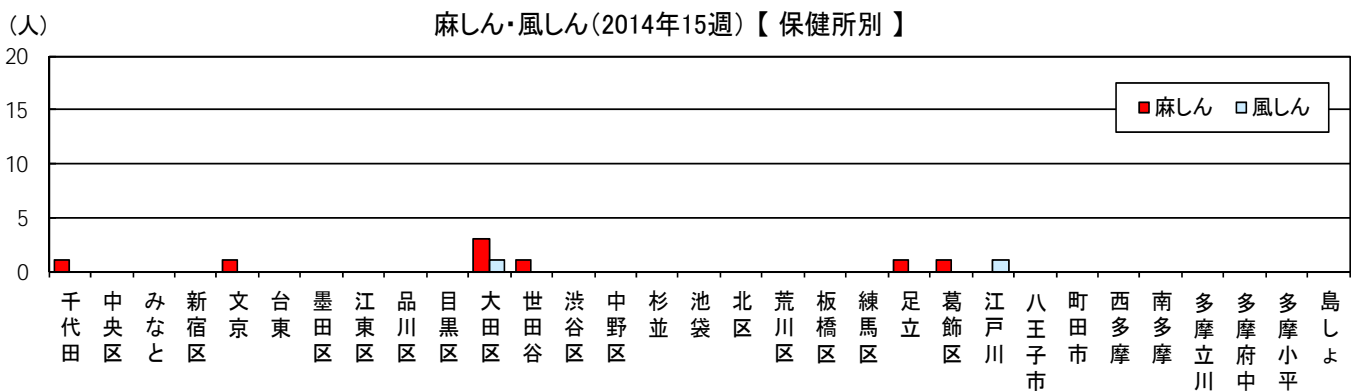
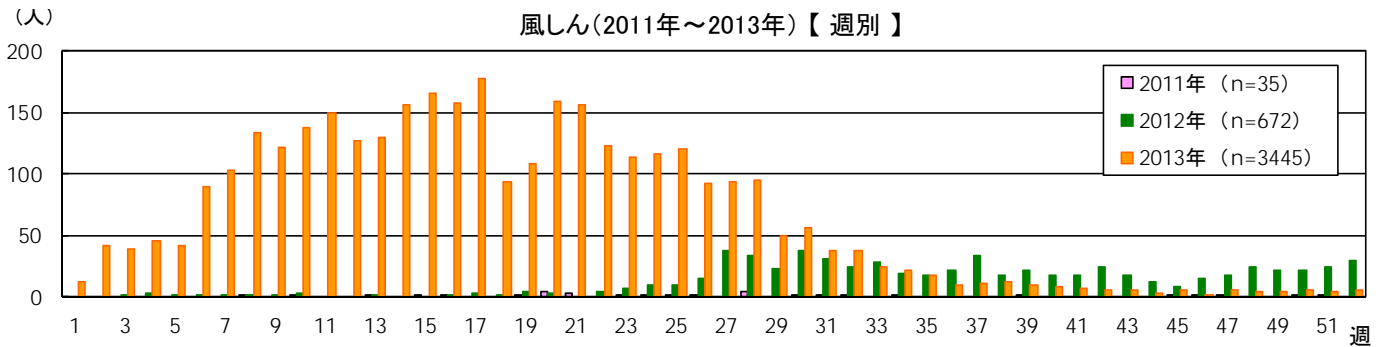
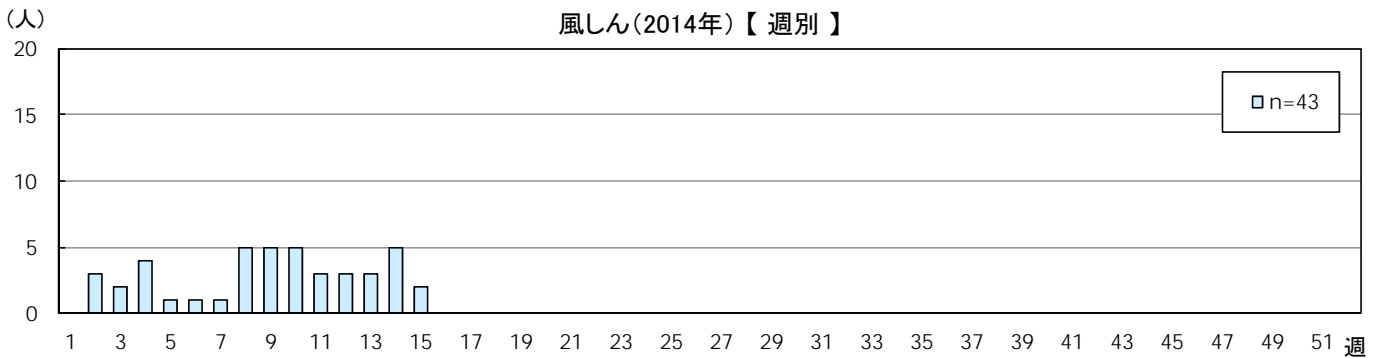
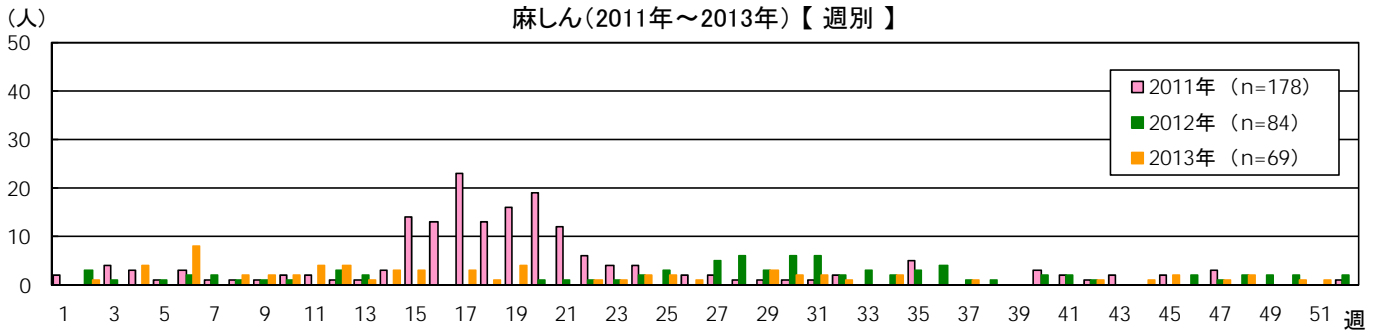
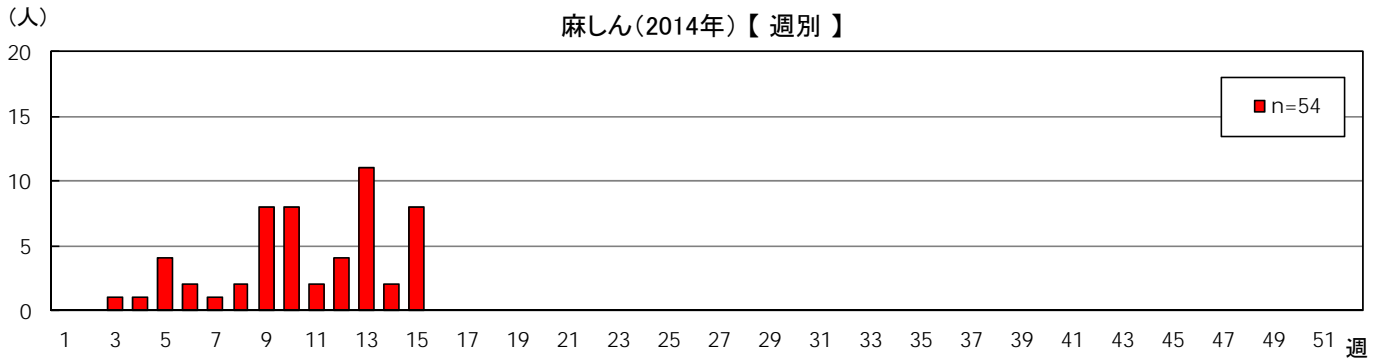
侵襲性肺炎球菌感染症 6件 血清型は未実施 6件、年齢は5歳未満 1件、60代 2件、70代 1件、80代 2件、推定感染地は国内 6件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 5件、不明 1件、肺炎球菌ワクチン接種歴は接種なし 3件、不明 3件であった。

梅毒 9件 早期顕症梅毒Ⅰ期 1件、早期顕症梅毒Ⅱ期 4件、晩期顕症梅毒 1件、無症状病原体保有者 3件、年齢は20代 1件、30代 3件、40代 4件、70代 1件、推定感染地は国内 9件、推定感染経路は性的接触 9件(同性間 4件、異性間 3件、性別不明 2件)であった。

風しん 2件 臨床診断例 2件、年齢は5歳未満 1件、30代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 1件、風しん含有ワクチン接種歴は1回接種 1件、不明 1件であった。

麻しん 8件 検査診断例 5件(遺伝子型:B3 1件、D9 3件、検査中 1件、)、修飾麻しん 3件(遺伝子型:B3 1件、判定不能 1件、未実施 1件)、年齢は10歳未満 1件、10代 3件、30代 1件、40代 2件、60代 1件、推定感染地は国内 7件、フィリピン 1件、推定感染経路は接触感染 3件、飛沫・飛沫核感染 1件、不明 4件、麻しん含有ワクチン接種歴は1回接種 1件、接種なし 5件、不明 2件であった。3件は同一家族内での発症であった。

全数把握対象疾患(麻しん・風しん)報告数(週別・保健所別)



定点把握対象疾患 報告数 2014年15週

定点種別	対象疾患	2014年					報告医療機関数	定点医療機関数
		12週	13週	14週	15週	定点当たり		
小児科	RSウイルス感染症	33	35	26	27	0.10	261	264
	咽頭結膜熱	46	56	33	45	0.17		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	489	452	455	500	1.92		
	感染性胃腸炎	1,225	1,125	1,150	1,291	4.95		
	水痘	161	191	169	164	0.63		
	手足口病	7	8	12	20	0.08		
	伝染性紅斑	31	55	34	62	0.24		
	突発性発しん	96	134	146	157	0.60		
	百日咳	6	2	3				
	ヘルパンギーナ	2	1	5	7	0.03		
	流行性耳下腺炎	26	26	40	42	0.16		
	川崎病 *1	3	7	3	4	0.02		
不明発しん症 *1	12	16	18	16	0.06			
インフルエンザ	インフルエンザ *2	6,106	3,880	2,001	1,264	3.05	414	419
眼科	急性出血性結膜炎	2	1				39	39
	流行性角結膜炎	8	17	13	13	0.33		
基幹	細菌性髄膜炎 *3			2			25	25
	無菌性髄膜炎				4	0.16		
	マイコプラズマ肺炎	2	2	4	4	0.16		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)							
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) *4	7	5	13	4	0.16		
	インフルエンザ入院	29	26	18	8	0.32		

2014/4/16集計

- *1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。
 *2 鳥インフルエンザを除く。
 *3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。
 *4 病原体がロタウイルスであるものに限る。2013年42週より開始

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・インフルエンザの定点当たり報告数は14週より流行警報基準を下回り、今週はさらに減少している。
- ・ロタウイルスを原因とする感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。

(小児科・内科定点医療機関からのコメント)

墨田区

- ・溶連菌感染の1歳児と2歳児は同じ保育園で、溶連菌特有の症状は特になかった。同保育園の3～5歳児で溶連菌感染が流行している。
- ・アデノウイルス扁桃炎 1名

大田区

- ・急性胃腸炎が流行している。

世田谷

- ・ロタウイルス腸炎 1名、ヘルパンギーナ 1名
- ・ヒトメタニューモウイルス 3名

荒川区

- ・ヒトメタニューモウイルス 8名、ロタウイルス 6名、アデノウイルス咽頭炎 1名、RSウイルスが増えている。
- ・病原性大腸菌 O1、O6 各1名、O25 2名、カンピロバクター 4名

板橋区

- ・病原性大腸菌 O1、O18、アデノウイルス、ヒトメタニューモウイルス 各1名

池袋

- ・ヒトメタニューモウイルス 8名

葛飾区

- ・ロタウイルス胃腸炎 2名

八王子市

- ・ノロウイルス胃腸炎 1名
- ・アデノウイルス 1名
- ・アデノウイルス咽頭炎 2名、ヒトメタニューモウイルス肺炎 1名、ロタウイルス胃腸炎 2名

町田市

- ・伝染性紅斑が増えている。

多摩府中

- ・ロタウイルス胃腸炎 3名

多摩小平

- ・ロタウイルス 2名
- ・ロタウイルス腸炎 11名、アデノウイルス腸炎 2名、ヒトメタニューモウイルス 6名
- ・ノロウイルス、ロタウイルス 各1名

※「インフルエンザ定点医療機関からの迅速診断結果及びコメント」は15ページに記載

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2014年15週

定点種別	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
～5か月	7		1	16	6						
6～11か月	2	4	1	112	5	2	4	56			
1歳	9	13	14	219	17	7	3	84			1
2歳	7	12	24	135	24	2	2	14			2
3歳		4	61	108	18	6	7	1			6
4歳	1	3	59	114	31	2	11	2			13
5歳		2	79	94	24	1	12			1	4
6歳		2	77	59	14		3				6
7歳	1	1	56	71	14		5			1	4
8歳			27	38	4		4				2
9歳		1	30	41	3		6				2
10～14歳		2	43	88	3		2			2	2
15～19歳			2	33							
20～29歳		1	26	163	1		3			3	
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	27	45	500	1,291	164	20	62	157		7	42
先週比	1	12	45	141	-5	8	28	11	-3	2	2

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月			1								
6～11か月		4	14								
1歳	3	3	57								
2歳		3	69					1		1	2
3歳		1	66							2	1
4歳		3	97					1		1	
5歳	1		79					1			
6歳		2	90								
7歳			44								
8歳			30					1			
9歳			38								
10～14歳			94					1			2
15～19歳			65								
20～29歳			91		5						
30～39歳			140		3			1			
40～49歳			140		2			1			
50～59歳			80		3						2
60～69歳			41								
70～79歳			18					1			
80歳以上			10								1
合計	4	16	1,264		13		4	4		4	8
先週比	1	-2	-737			-2	4			-9	-10

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 報告数【保健所別・定点当たり】 2014年15週

定点種別	小児科										
	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎
千代田	1.00		0.33	1.67	0.33			0.33			
中央区	0.67			3.67				0.67			1.33
みなと	0.17	0.33	1.17	5.17	0.33			0.33			0.17
新宿区		0.25	2.50	2.63	0.38						0.63
文京			0.75	2.50				0.75			
台東	0.25		2.00	10.00	1.25			0.50			
墨田区	0.20		0.80	5.20	0.40	0.20		0.60			
江東区		0.11	2.22	12.78	0.67	0.33	0.22	0.89			0.22
品川区		0.13	0.63	2.88	0.88		0.13	0.63			
目黒区			2.00	3.80			0.60	0.60			0.20
大田区		0.62	2.31	8.46	0.62		0.23	0.46			0.08
世田谷		0.13	1.63	4.44	1.06	0.06	0.44	0.56		0.06	0.19
渋谷区				4.00		0.25	0.25	1.50			
中野区			0.57	4.00	0.43		0.14	0.14			
杉並		0.22	0.78	3.56			0.11	0.56			
池袋	0.20		1.60	2.80			0.20				
北区		0.14	1.43	3.14	0.43		0.43	0.43			0.14
荒川区	3.00		2.50	4.25	1.25	0.50		1.50		0.25	0.25
板橋区			0.60	2.40	0.50		0.10	0.40			0.10
練馬区		0.50	2.25	3.75	0.42		0.17	0.75			0.08
足立		0.08	1.38	3.23	0.85		0.15	0.77			0.46
葛飾区			0.50	2.63	1.50		0.38	0.38			
江戸川	0.08	0.08	3.50	6.00	0.75	0.33	0.58	0.50			0.50
八王子市	0.09	0.36	4.64	7.91	1.45	0.27	0.64	0.91			0.09
町田市			5.63	10.00	1.00	0.50	0.88	0.50			
西多摩		0.13	1.00	3.38	0.13		0.13	0.38			0.38
南多摩		0.33	4.11	4.11	1.22			0.67		0.56	
多摩立川	0.07		2.43	4.21	0.14		0.21	0.64			0.14
多摩府中	0.05	0.05	1.15	4.20	0.40	0.05	0.05	0.65			0.05
多摩小平	0.13	0.60	2.13	6.80	0.53		0.33	1.00			0.13
島しょ					6.00						
東京都	0.10	0.17	1.92	4.95	0.63	0.08	0.24	0.60		0.03	0.16

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田	0.33		2.00								
中央区			5.20		1.00						
みなと			2.33				2.00				1.00
新宿区	0.13		3.00					1.00			
文京			3.29		2.00						
台東			1.14								
墨田区		0.40	3.38		1.00		1.00				
江東区			4.29								
品川区			1.25		1.00						
目黒区		0.40	1.50								
大田区		0.08	3.29		0.50						
世田谷	0.06	0.06	4.00		0.50		0.50	0.50		0.50	1.00
渋谷区			2.00					1.00		1.00	
中野区		0.14	2.27								
杉並			5.67								
池袋			4.13								
北区			2.55								
荒川区	0.25		3.71		1.00						
板橋区		0.10	1.75		0.50						
練馬区			2.89								
足立			2.40		0.50						
葛飾区			4.08							2.00	
江戸川		0.08	3.16								
八王子市			1.72								
町田市		0.38	3.00								
西多摩			1.93		1.00						
南多摩			2.36								
多摩立川			4.33								
多摩府中		0.05	2.78		0.33						1.33
多摩小平		0.20	3.14		0.50						0.50
島しょ			12.50								
東京都	0.02	0.06	3.05		0.33		0.16	0.16		0.16	0.32

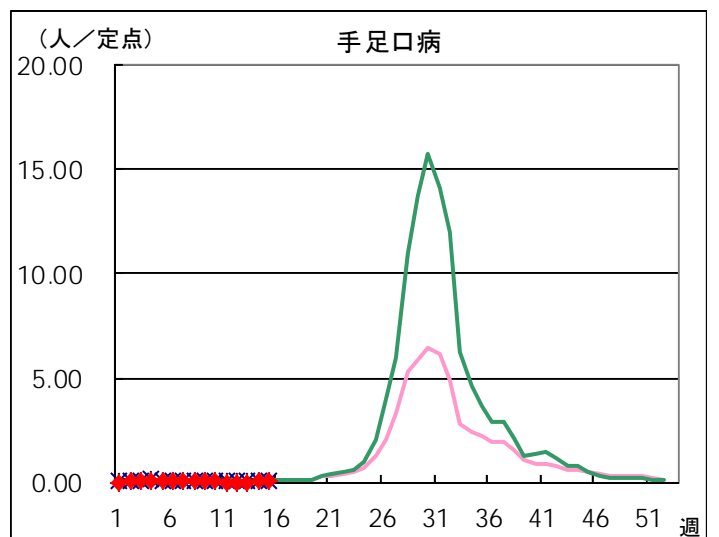
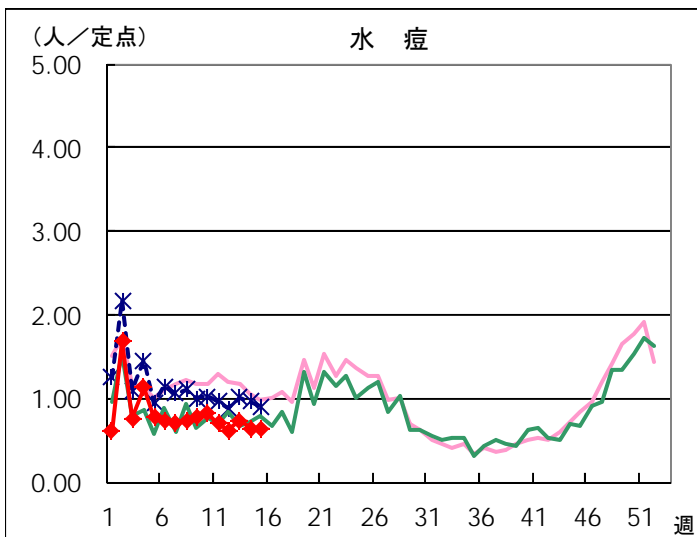
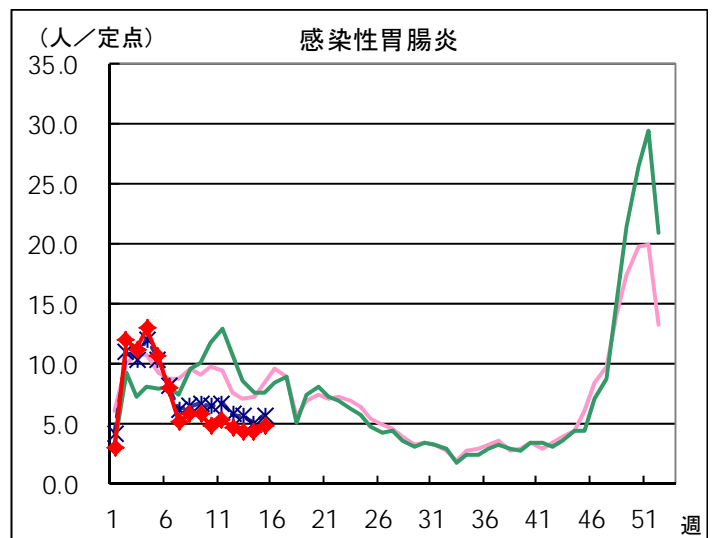
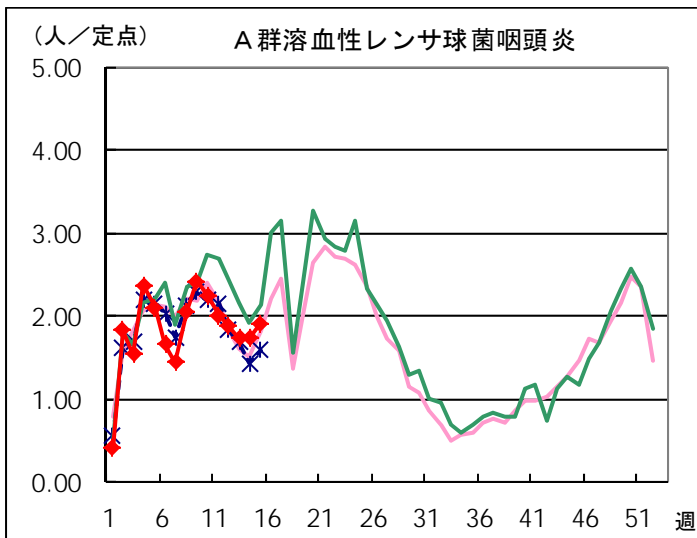
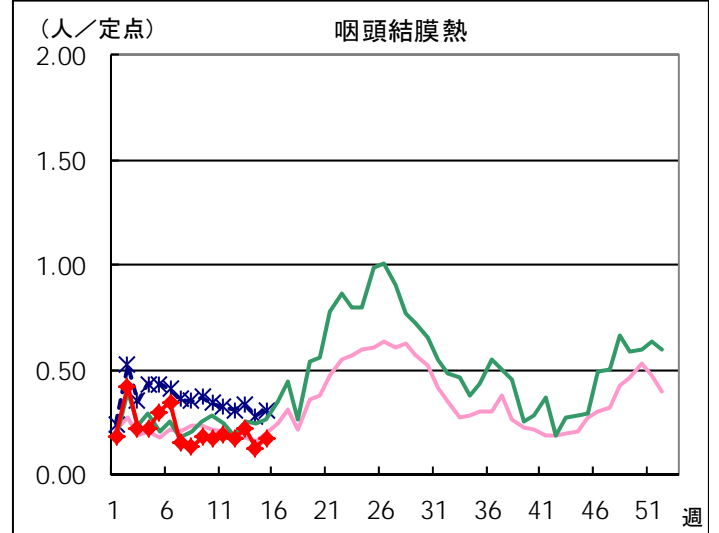
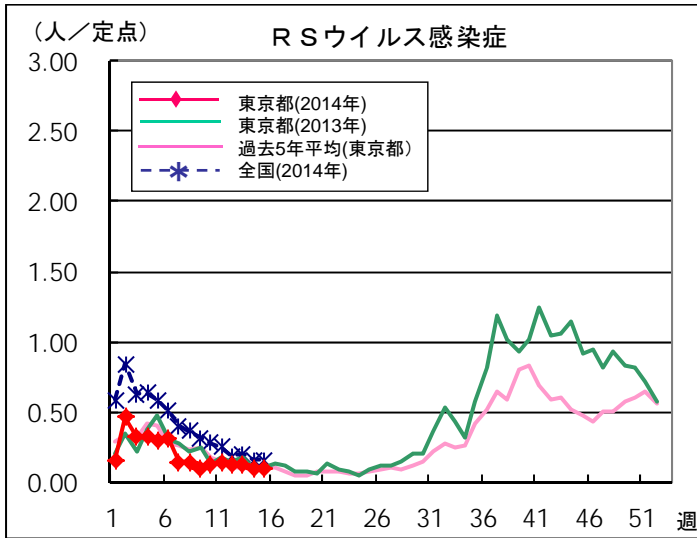
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2014年15週

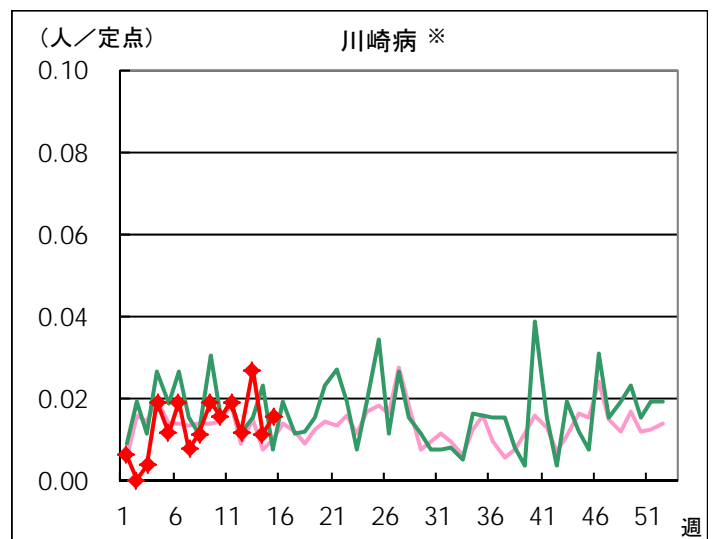
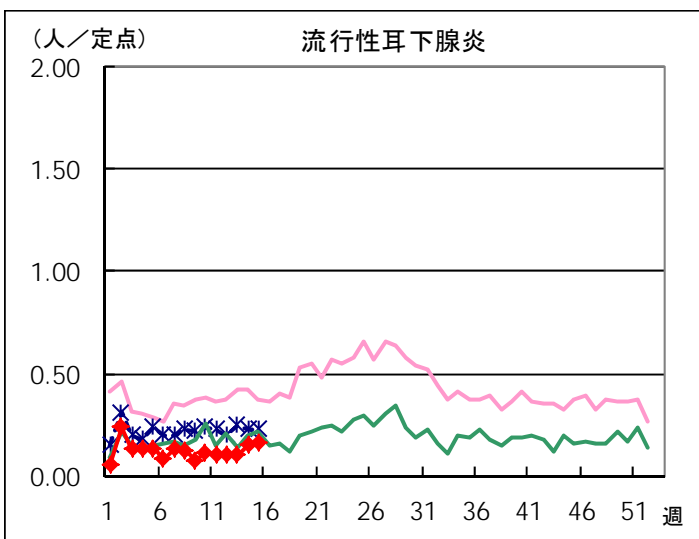
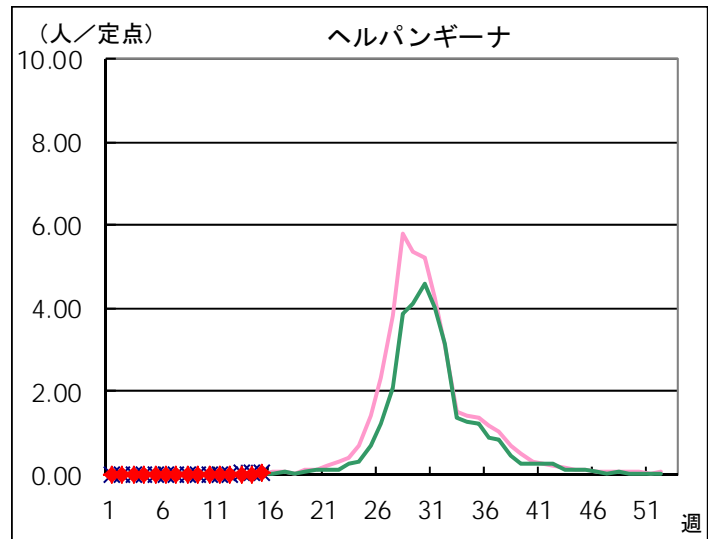
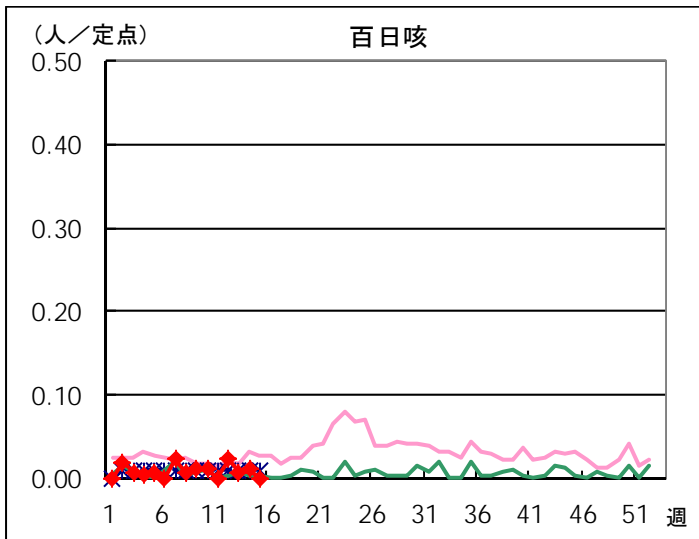
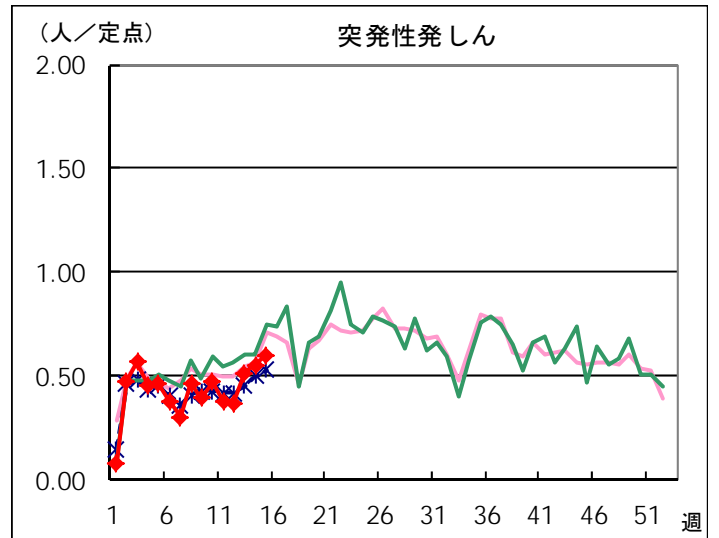
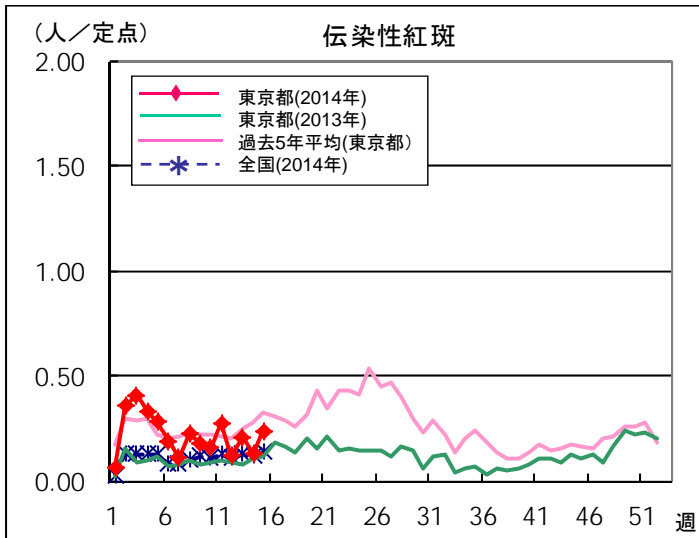
定点種別	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	百日咳	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎
千代田	3		1	5	1			1			
中央区	2			11				2			4
みなと	1	2	7	31	2			2			1
新宿区		2	20	21	3						5
文京			3	10				3			
台東	1		8	40	5			2			
墨田区	1		4	26	2	1		3			
江東区		1	20	115	6	3	2	8			2
品川区		1	5	23	7		1	5			
目黒区			10	19			3	3			1
大田区		8	30	110	8		3	6			1
世田谷		2	26	71	17	1	7	9		1	3
渋谷区				16		1	1	6			
中野区			4	28	3		1	1			
杉並		2	7	32			1	5			
池袋	1		8	14			1				
北区		1	10	22	3		3	3			1
荒川区	12		10	17	5	2		6		1	1
板橋区			6	24	5		1	4			1
練馬区		6	27	45	5		2	9			1
足立		1	18	42	11		2	10			6
葛飾区			4	21	12		3	3			
江戸川	1	1	42	72	9	4	7	6			6
八王子市	1	4	51	87	16	3	7	10			1
町田市			45	80	8	4	7	4			
西多摩		1	8	27	1		1	3			3
南多摩		3	37	37	11			6		5	
多摩立川	1		34	59	2		3	9			2
多摩府中	1	1	23	84	8	1	1	13			1
多摩小平	2	9	32	102	8		5	15			2
島しょ					6						
東京都合計	27	45	500	1,291	164	20	62	157		7	42

定点種別	小児科		インフルエンザ	眼科		基幹					
	川崎病	不明発しん症	インフルエンザ	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	インフルエンザ入院
千代田	1		8								
中央区			26		1						
みなと			21				2				1
新宿区	1		36					2			
文京			23		2						
台東			8								
墨田区		2	27		1		1				
江東区			60								
品川区			15		1						
目黒区		2	12								
大田区		1	69		1						
世田谷	1	1	100		1		1	1		1	2
渋谷区			14					1		1	
中野区		1	25								
杉並			85								
池袋			33								
北区			28								
荒川区	1		26		1						
板橋区		1	28		1						
練馬区			55								
足立			48		1						
葛飾区			53							2	
江戸川		1	60								
八王子市			31								
町田市		3	39								
西多摩			27		1						
南多摩			33								
多摩立川			91								
多摩府中		1	89		1						4
多摩小平		3	69		1						1
島しょ			25								
東京都合計	4	16	1,264		13		4	4		4	8

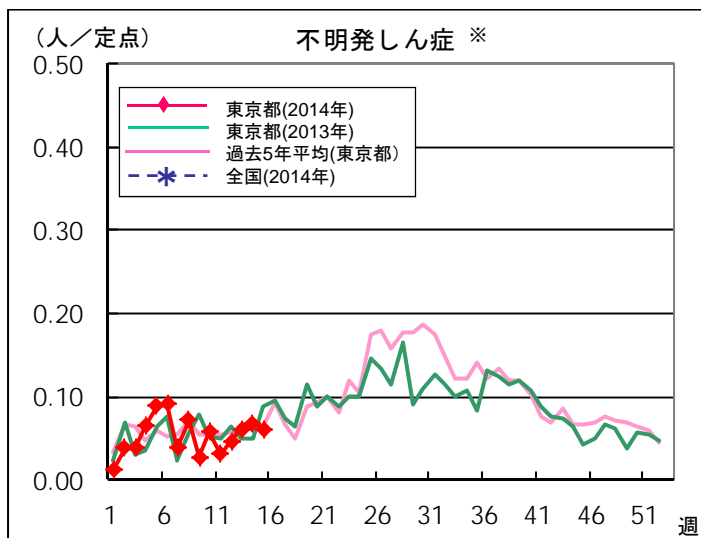
定点把握対象疾患 週別報告数(2014年15週 現在)

◆ 小児科定点



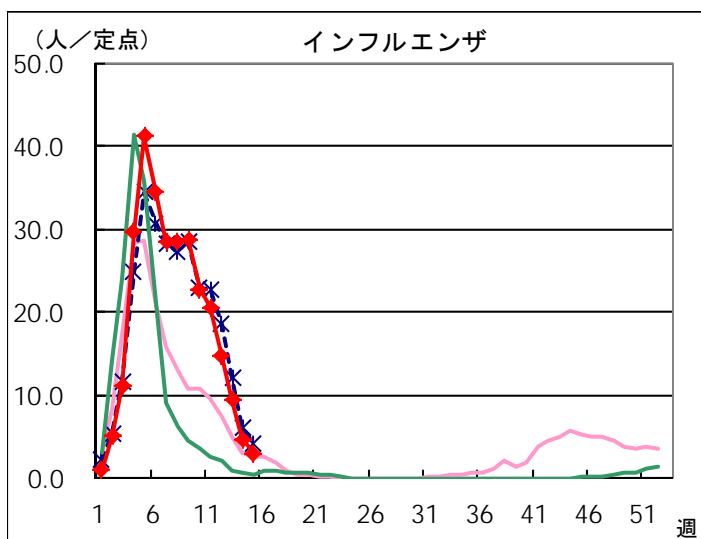


※ 東京都独自対象疾患

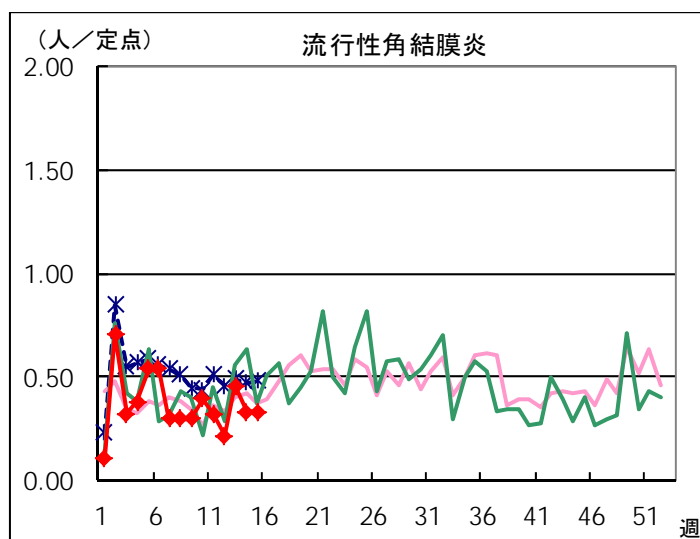
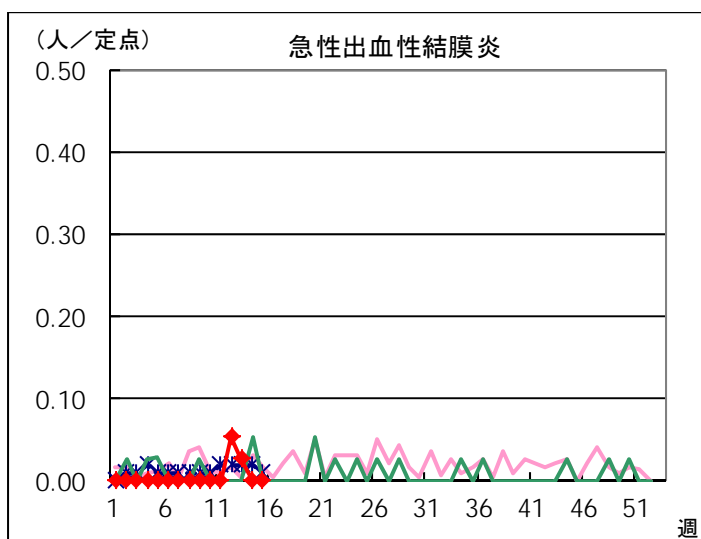


※ 東京都独自対象疾患

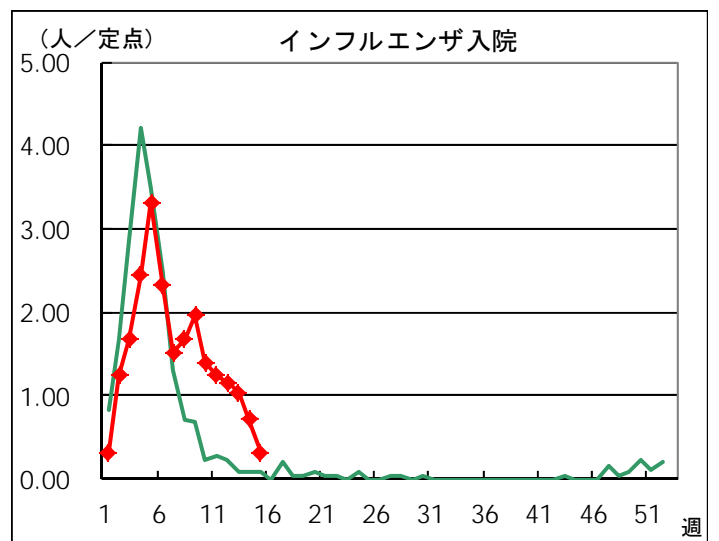
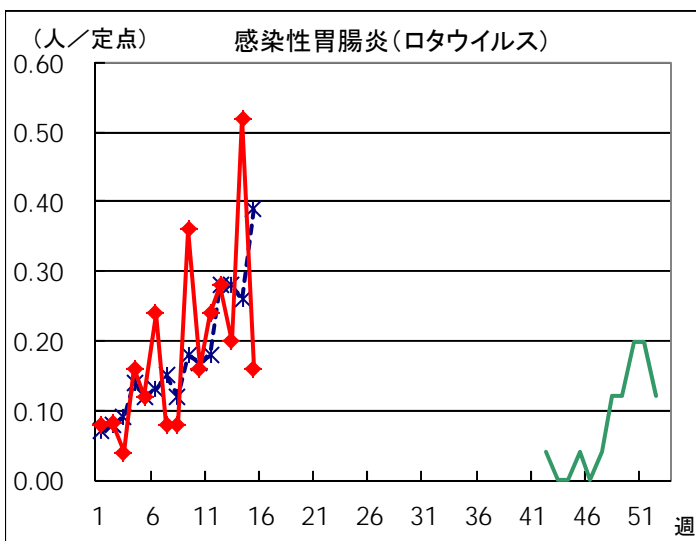
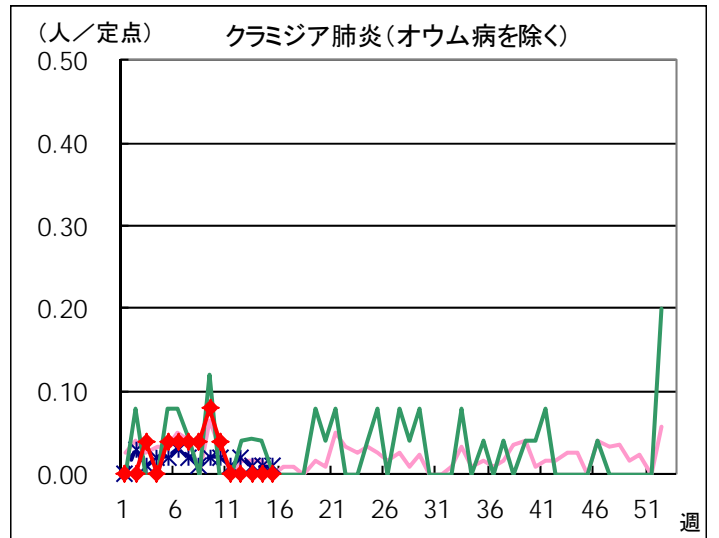
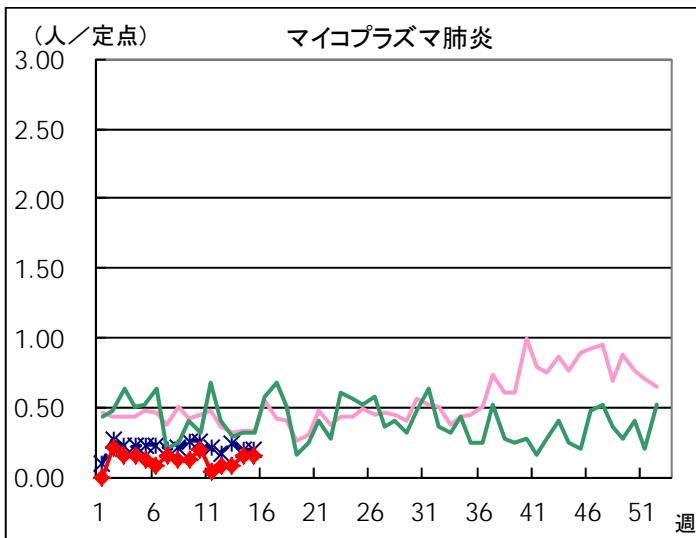
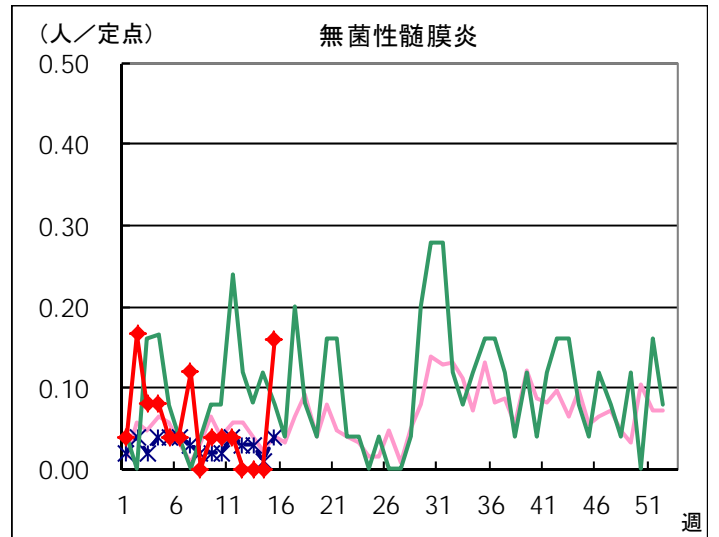
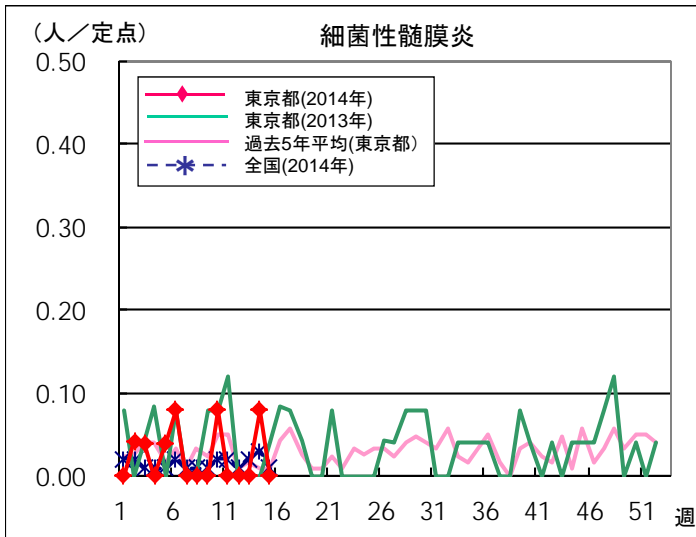
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



インフルエンザ定点医療機関からの迅速診断結果及びコメント

管轄保健所	インフルエンザ 迅速診断結果			医療 *1 機関数	コメント
	A型 *2	B型	記載なし		
千代田	0	1		1	
みなと	2	7		4	・2名、ともにB型
文京		9		2	
台東		2		2	
墨田区	3	24		7	
江東区	4	39		9	
品川区		8		5	
目黒区	1	9		4	
大田区	1	16	3	9	・「B型3名」の内、予防接種済2名、未接種1名。 ・今週は2名、全部B。
世田谷	1	28	2	5	・すべてB型 大人のみ、減少している。
中野区	7	18		8	
杉並	1	14		3	・すべてB型
池袋		4		1	
荒川区	6	13		4	・AB同時感染 1名
板橋区			1	1	
練馬区	3	28		7	
葛飾区	12	37		12	
江戸川	7	8		2	
八王子市	2	16	5	10	・臨床診断 1名 ・臨床診断 1名
町田市		6		3	
西多摩	7	16		7	
南多摩	8	22		9	
多摩立川	2	12	5	3	
多摩府中	3	14		6	
多摩小平	4	24		9	
島しょ	2	8		1	
総計	76	383	16	134	

*1 迅速診断結果の報告があった医療機関数

2014/4/16集計

*2 AH1pdm09型を含む

定点(病原体)医療機関から搬入された検体の検査情報

◇病原体検出状況(インフルエンザウイルスを除く)

採取日	臨床診断名	患者年齢	検査試料	検出病原体
3/17	急性気管支炎	4M	咽頭拭い液	ライノウイルス
4/1	胃腸炎	9M	糞便	アデノウイルス ライノウイルス
3/27	ウイルス性発しん症	9M	咽頭拭い液	ライノウイルス ヒトヘルペスウイルス 6型
3/26	発しん	10M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型
3/25	ウイルス性発しん症	11M	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型
4/2	ウイルス性発しん症	11M	咽頭拭い液	ヒトパルボウイルスB19
3/28	咽頭炎 胃腸炎	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型
3/17	インフルエンザ	1	鼻汁	ライノウイルス インフルエンザウイルス B型*
3/31	ウイルス性発しん症	1	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型
3/31	髄膜炎	1	髄液	ムンプスウイルス
3/24	不明熱	1	咽頭拭い液	ライノウイルス インフルエンザウイルス B型*
3/31	インフルエンザ けいれん	2	咽頭拭い液	ヒトヘルペスウイルス 6型 インフルエンザウイルス B型*
3/31	気管支炎	2	鼻汁	ライノウイルス
3/29	急性気管支炎	3	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス
4/1	髄膜炎	5	咽頭拭い液	ムンプスウイルス
4/3	耳下腺炎	6	記載無し	ムンプスウイルス

* 下記「遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数」の集計数に含まれる。

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09*1型	AH1型	AH3型	B型
14週	3			8
2013-2014年 シーズン累計*2	160		55	148

*1 2011年4月1日から新型インフルエンザ(AH1N1pdm)が季節性インフルエンザに移行されたため、表記を AH1pdm09 とする。

*2 2013-2014年シーズンの開始は第36週(2013年9月2日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2014年							
	7週	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週
アデノウイルス	2	1	2	1		1	2	1
ライノウイルス	1	3	4	2	1	2		6
ポリオウイルス								
コクサッキーウイルスA群								
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス							2	
単純ヘルペスウイルス					3			
水痘・帯状疱疹ウイルス		1	1					
ヒトヘルペスウイルス6型・7型		1		1	4	4	3	6
EBウイルス								
サイトメガロウイルス			1	1	2			
ムンプスウイルス				1	1			3
麻疹ウイルス								
風疹ウイルス				1		2	1	
ヒトパルボウイルスB19			1					1
RSウイルス		2	2				2	
ノロウイルス		3			1			
ロタウイルス	1	1		2	1			
インフルエンザウイルスAH1								
インフルエンザウイルスAH3	1	3	1	1	5	4	1	
インフルエンザウイルスB	7	12	10	20	19	6	10	8
インフルエンザウイルスAH1pdm09	9	10	7	10	5			3
デングウイルス(抗体を含む)								
その他のウイルス		1	1	1	1	2	5	1
その他の病原体					1			

病原体検出情報 【臨床診断名別】

2014年7週～2014年14週

	インフルエンザ	上気道炎	下気道炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	咽頭結膜熱	A群溶連菌咽頭炎	流行性角結膜炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	不明発しん症	流行性耳下腺炎	水痘	麻疹	風しん	その他
搬入検体数	161	12	25	23	32	5		7	3		5	30	3	5			34
アデノウイルス		1	1	2		1		2				1					2
ライノウイルス	3	2	4	2	1							3					4
ポリオウイルス																	
コクサッキーウイルスA群																	
コクサッキーウイルスB群																	
エコーウイルス																	
エンテロウイルス71																	
その他のエンテロウイルス	1		1														
単純ヘルペスウイルス					1							1					1
水痘・帯状疱疹ウイルス														2			
ヒトヘルペスウイルス6型・7型	1											12					6
EBウイルス																	
サイトメガロウイルス												1	1				2
ムンプスウイルス					2			1					2				
麻疹ウイルス																	
風しんウイルス											1	1					2
ヒトパルボウイルスB19											1	1					
RSウイルス			6														
ノロウイルス				4													
ロタウイルス				5													
インフルエンザウイルスAH1																	
インフルエンザウイルスAH3	16																
インフルエンザウイルスB	80	4	3								1		1				3
インフルエンザウイルスAH1pdm09	44																
デングウイルス(抗体を含む)																	
その他のウイルス	1	2	6	3													
その他の病原体																	1

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2014年3月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり	合計	定点当たり	報告医療機関数	定点医療機関数
性感染症	性器クラミジア感染症	男	105	1.91	175	3.18	55	55
		女	70	1.27				
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	68	1.24	109	1.98		
		女	41	0.75				
	尖圭コンジローマ	男	55	1.00	80	1.45		
		女	25	0.45				
	淋菌感染症	男	61	1.11	73	1.33		
		女	12	0.22				
	膺トリコモナス症 *1	男	1	0.02	4	0.07		
		女	3	0.05				
	梅毒様疾患	男	5	0.09	5	0.09		
		女						
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	男	49	1.96	84	3.36	25	25
		女	35	1.40				
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	男	11	0.44	13	0.52		
		女	2	0.08				
	薬剤耐性緑膿菌感染症	男	1	0.04	2	0.08		
		女	1	0.04				
薬剤耐性アシネトバクター感染症 *2	男							
	女							

2014/4/10

*1 性感染症定点から報告される『膺トリコモナス症』とは、原虫の一種である膺トリコモナス(Trichomonas vaginalis)による疾患を指し、女性の膺、男性の尿道、前立腺などの生殖器や泌尿器に寄生して引き起こされる感染症である。ヒトに寄生するトリコモナスには、他に口腔トリコモナスや腸トリコモナスがある。

*2 2011年2月1日より新たに指定された。

月報告 定点把握対象疾患(性感染症・基幹) 報告数【年齢階級別】2014年3月

男										
年齢階級	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	陰トリコ モナス症	梅毒様疾患	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症	薬剤耐性 アシネトバク ター感染症
0歳							6			
1～4歳							2	2		
5～9歳							2			
10～14歳										
15～19歳	2		1	1			1			
20～24歳	16	6	1	11		1	1	1		
25～29歳	20	3	13	7		1				
30～34歳	23	6	9	14		1				
35～39歳	14	14	6	12	1		2	1		
40～44歳	12	6	8	6						
45～49歳	6	12	4	6		2				
50～54歳	8	5	5	3			2			
55～59歳	3	4	2	1			3		1	
60～64歳	1	3	5				3			
65～69歳		5					5	1		
70歳～		4	1				22	6		
合計	105	68	55	61	1	5	49	11	1	
先月数	93	69	38	81	1	5	49	14	3	
増減数	12	-1	17	-20				-3	-2	

女										
年齢階級	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	陰トリコ モナス症	梅毒様疾患	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症	薬剤耐性 アシネトバク ター感染症
0歳							11			
1～4歳								2		
5～9歳							3			
10～14歳										
15～19歳	6	2		2						
20～24歳	23	8	10	2						
25～29歳	17	8	5	5	1					
30～34歳	14	7	3	3	1					
35～39歳	7	5	3				1			
40～44歳	1	5	4							
45～49歳	1									
50～54歳	1				1		2			
55～59歳		1								
60～64歳		3					2			
65～69歳							2			
70歳～		2					14		1	
合計	70	41	25	12	3		35	2	1	
先月数	62	39	21	6	9	3	27	8		
増減数	8	2	4	6	-6	-3	8	-6	1	

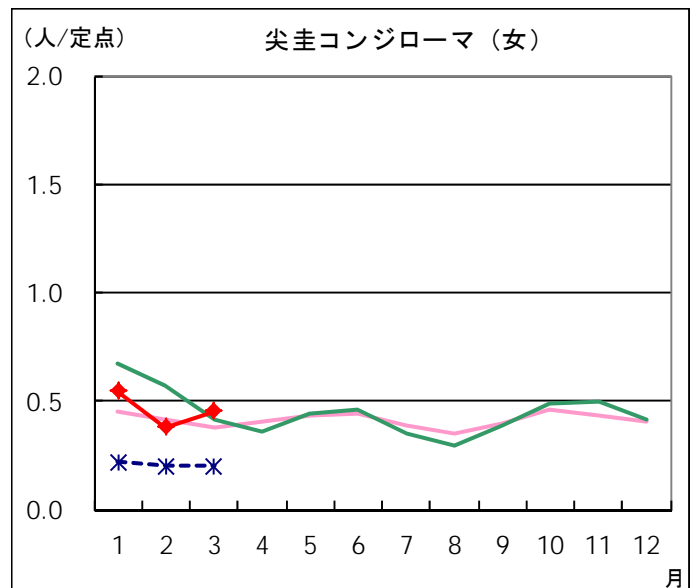
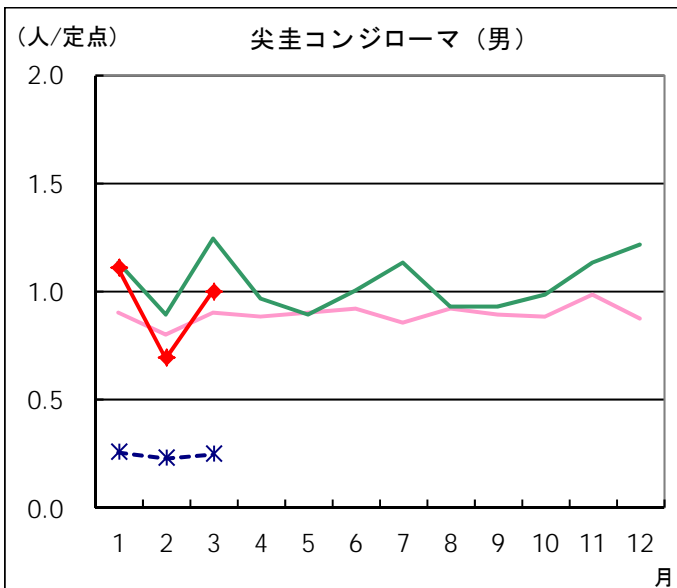
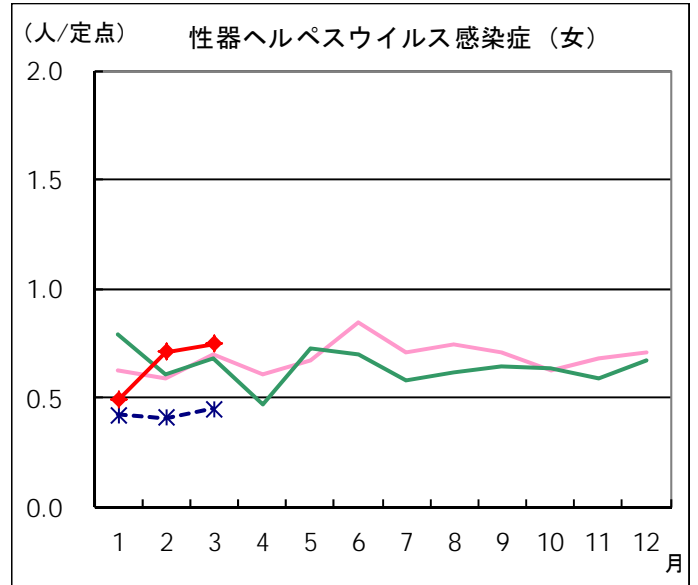
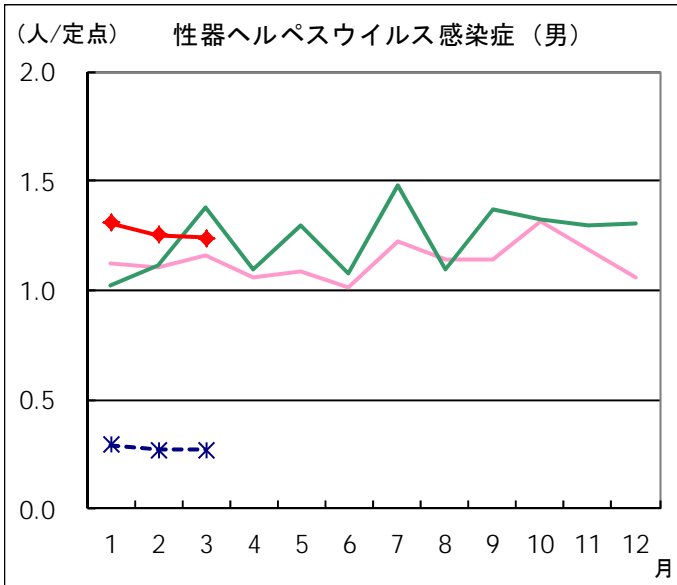
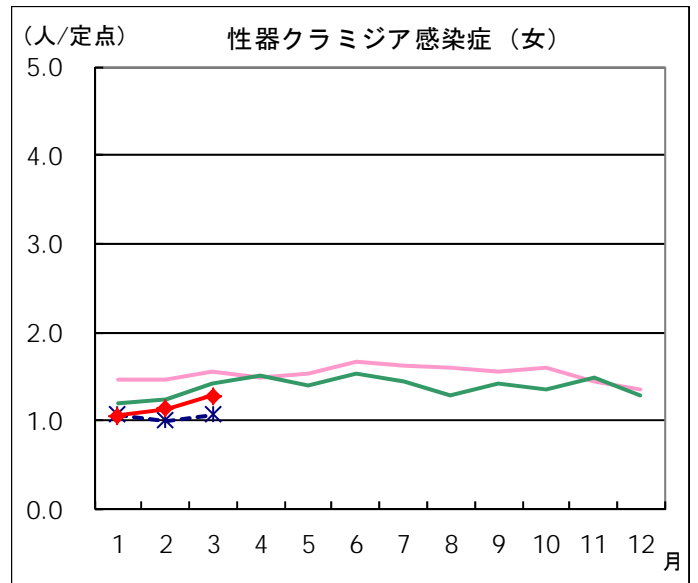
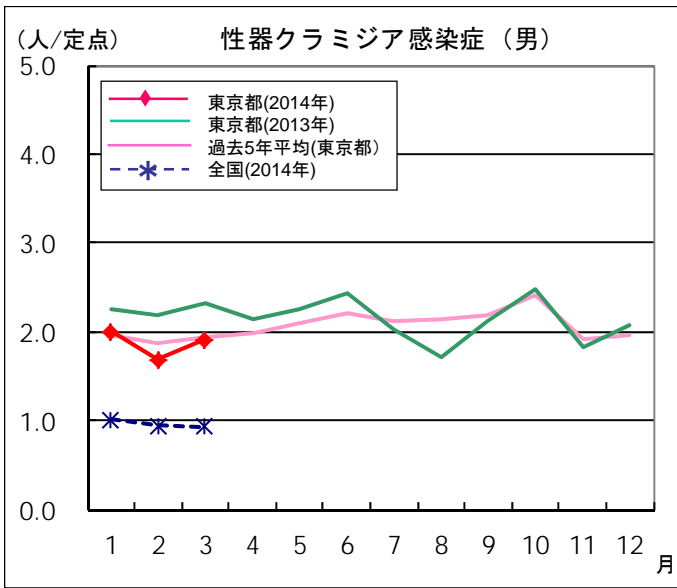
月報告 定点把握対象疾患(性感染症)報告数【保健所別】 2014年3月

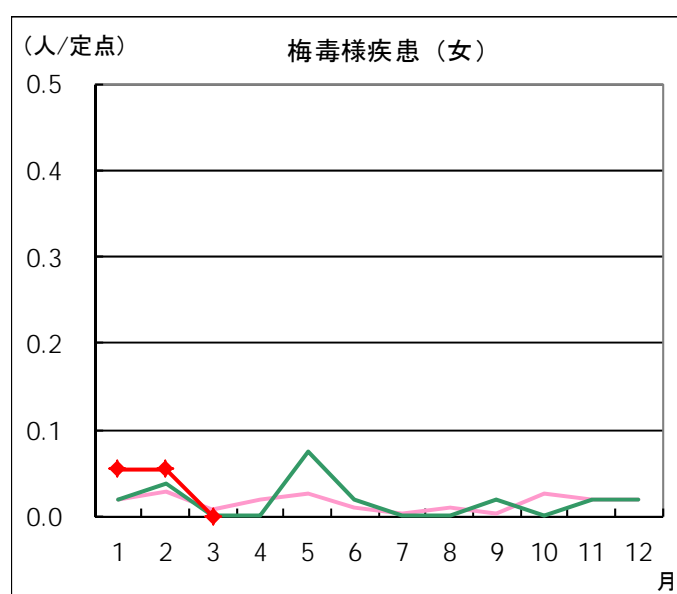
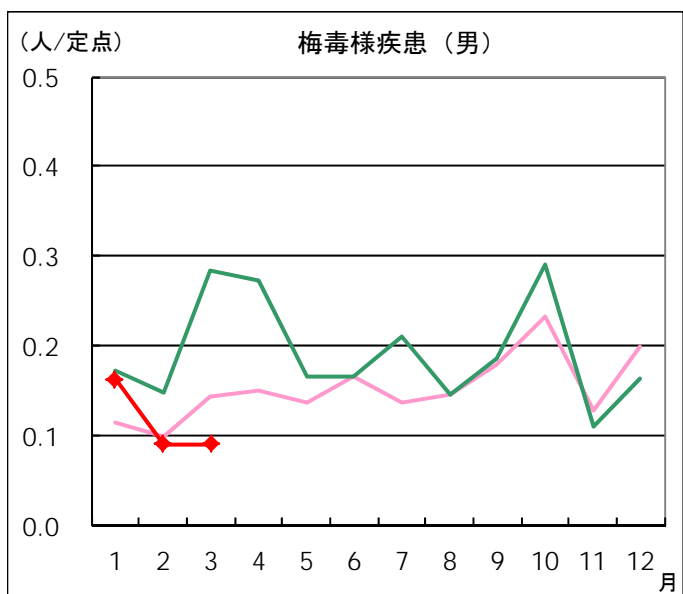
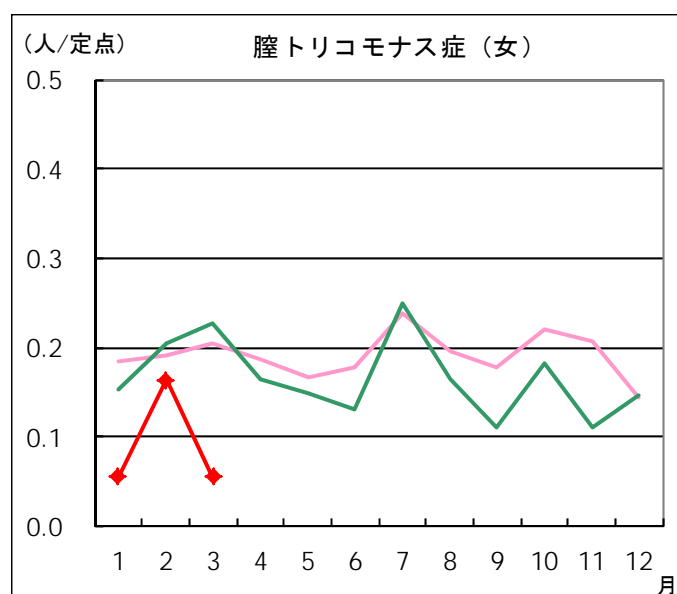
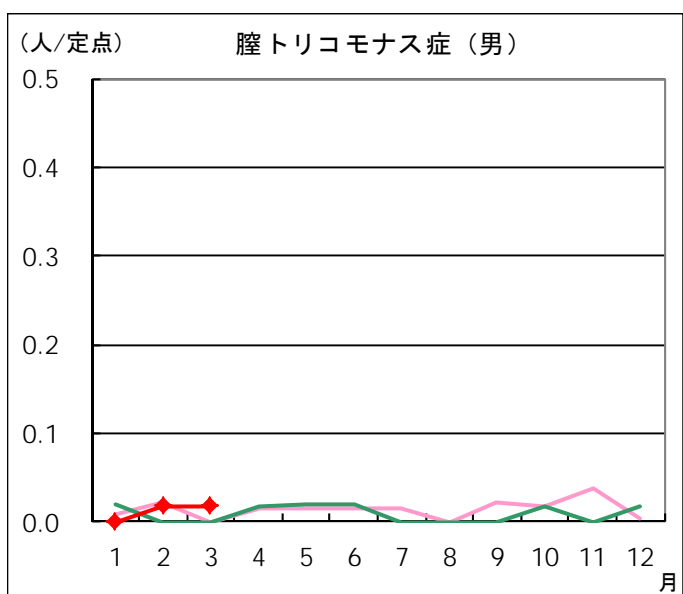
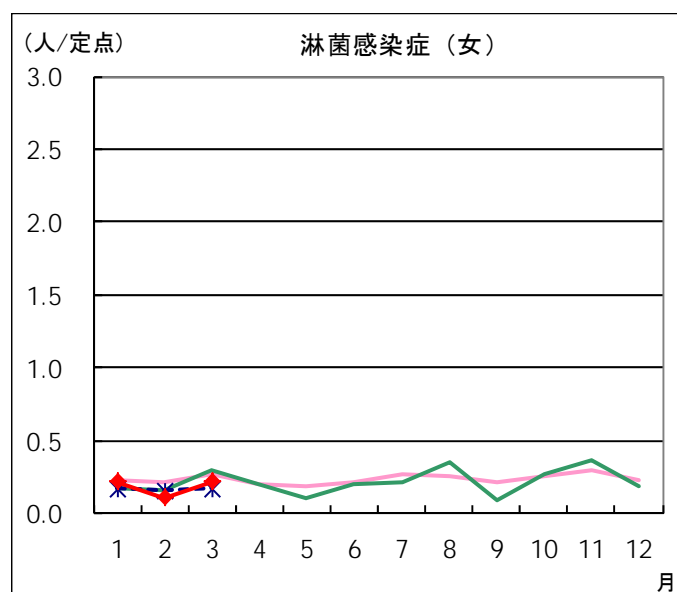
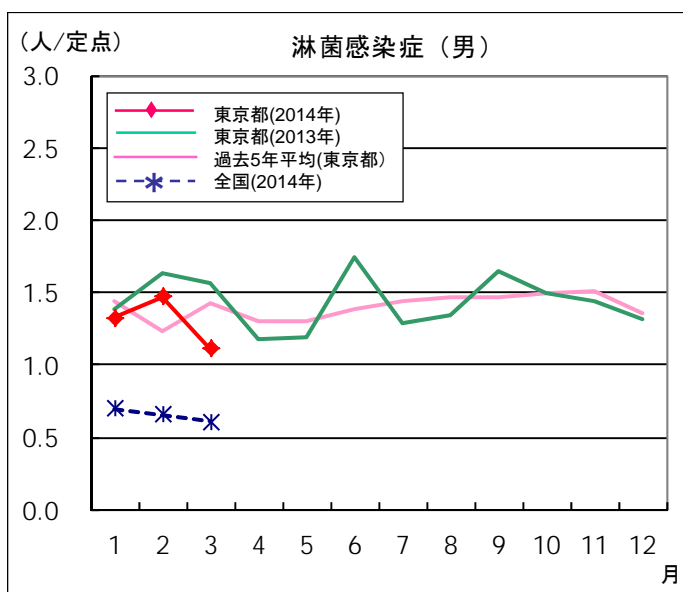
男								
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患	総計
千代田	2	9		4	4			17
中央区	3	13	5	1	5			24
みなと	2	6	29	12	5		1	53
新宿区	7	22	10	26	18		2	78
文京	1	4			4			8
台東	2		1					1
墨田区	2	3	3		2			8
江東区	2	5	4	6	4			19
品川区	1	8	4		1	1		14
大田区	2	1			1			2
渋谷区	5	10	2	1	2			15
中野区	2						1	1
杉並	2	1			1			2
池袋	3	13	8	4	9		1	35
北区	1	2			1			3
荒川区	1							
板橋区	2	2		1	3			6
足立	2	1			1			2
江戸川	2	3	2					5
八王子市	4							
町田市	1							
多摩立川	2	2						2
多摩府中	3							
多摩小平	1							
合計	55	105	68	55	61	1	5	295
定点当たり		1.91	1.24	1.00	1.11	0.02	0.09	5.36

女								
保健所名	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	梅毒様疾患	総計
千代田	2	3		1				4
中央区	3							
みなと	2	3	7	6				16
新宿区	7	5	10	8	4			27
文京	1							
台東	2	1				1		2
墨田区	2	3	1	1				5
江東区	2	3		1				4
品川区	1		1					1
大田区	2	6						6
渋谷区	5	4	8	2		1		15
中野区	2			1	1			2
杉並	2							
池袋	3	8	2	1	3			14
北区	1							
荒川区	1	2						2
板橋区	2	7	3					10
足立	2	2	1		1			4
江戸川	2	4		1		1		6
八王子市	4	3	1	1	1			6
町田市	1	4	4					8
多摩立川	2	11	2	1	2			16
多摩府中	3			1				1
多摩小平	1	1	1					2
合計	55	70	41	25	12	3		151
定点当たり		1.27	0.75	0.45	0.22	0.05		2.75

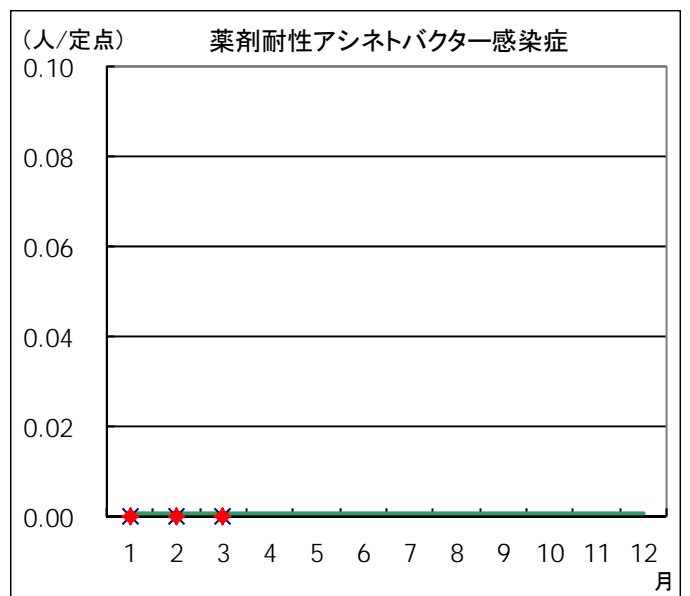
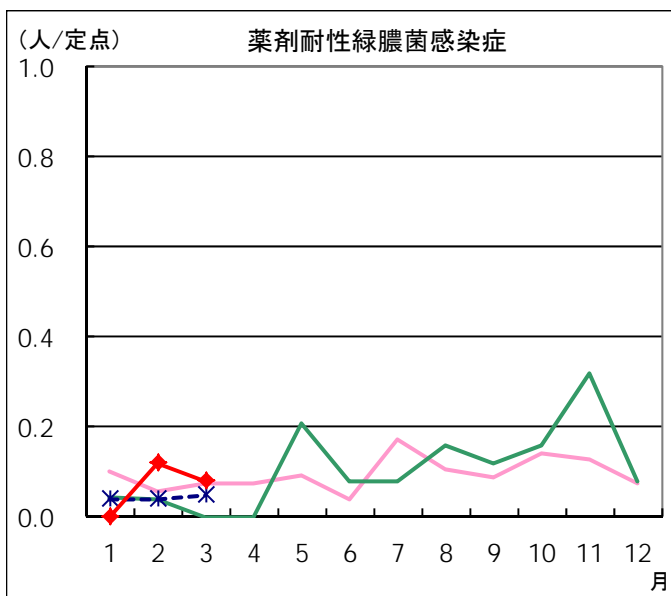
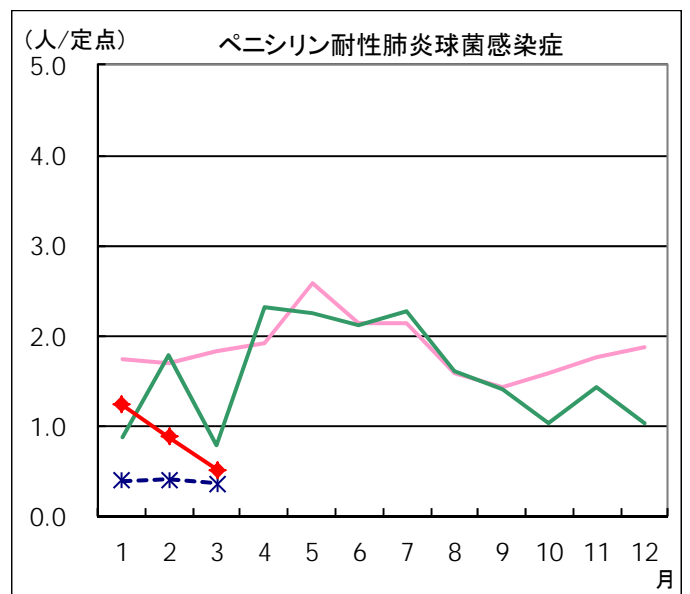
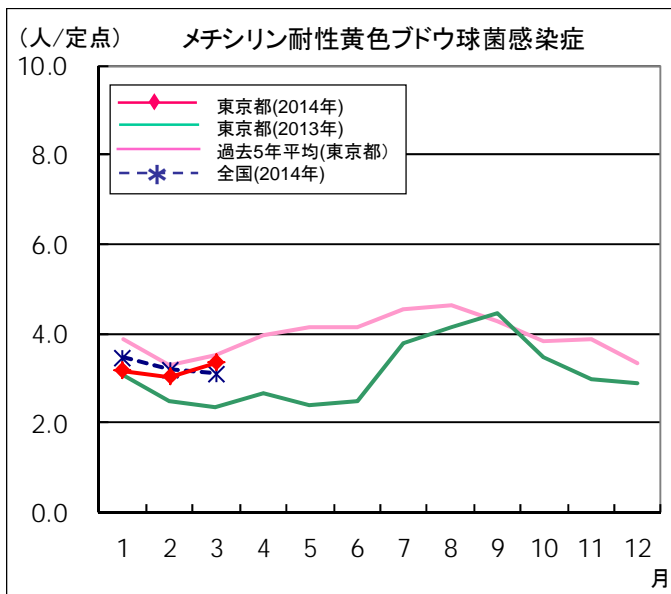
月報告 定点把握対象疾患報告数【月別発生状況】 2014年3月現在

◆ 性感染症定点





◆ 基幹定点



月報告 病原体検査情報

◇病原体検出状況

受付 月日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体
3/12	尿道炎	18	男	尿	クラミジア・トラコマチス
3/19	外陰部ヘルペス	19	女	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	単純ヘルペスウイルス 1型
3/19	前立腺炎	22	男	尿	クラミジア・トラコマチス
3/19	コンジローマ(尿道口)	25	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	ヒトパピローマウイルス 6型
3/26	外陰部コンジローマ	25	女	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	ヒトパピローマウイルス 11型
3/12	尿道炎	26	男	尿	クラミジア・トラコマチス
3/28	尿道炎	26	男	尿	クラミジア・トラコマチス
3/5	陰茎コンジローマ	29	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	ヒトパピローマウイルス 11型 ヒトパピローマウイルス cand89型
3/26	尿道炎	29	男	尿	クラミジア・トラコマチス
3/12	淋菌性尿道炎	32	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	淋菌
3/5	淋菌性尿道炎	34	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	クラミジア・トラコマチス
3/28	尿道炎	37	男	尿	クラミジア・トラコマチス 淋菌
3/19	陰茎コンジローマ	40	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	ヒトパピローマウイルス 6型 ヒトパピローマウイルス 31型
3/28	尿道炎	40	男	尿	淋菌
3/12	尿道炎	41	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	クラミジア・トラコマチス
3/26	陰茎コンジローマ	42	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	ヒトパピローマウイルス 11型 ヒトパピローマウイルス 51型
3/3	単純ヘルペス疑い	47	女	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	単純ヘルペスウイルス 2型
3/24	HPV感染疑い	48	記載なし	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	ヒトパピローマウイルス 16型 ヒトパピローマウイルス 51型
3/14	コンジローマ	50	男	コンジローマ部位擦過物	ヒトパピローマウイルス 6型 ヒトパピローマウイルス 53型
3/28	尿道炎	50	男	尿	クラミジア・トラコマチス
3/7	尖圭コンジローマ	52	男	コンジローマ部位擦過物	ヒトパピローマウイルス 11型
3/7	尖圭コンジローマ	52	男	コンジローマ患部生検	ヒトパピローマウイルス 11型
3/19	淋菌性尿道炎	55	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	淋菌
3/5	陰茎ヘルペス疑い	61	男	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	単純ヘルペスウイルス 1型
3/7	コンジローマ	64	男	コンジローマ患部生検	ヒトパピローマウイルス 6型
3/28	性器ヘルペス	70	男	皮膚病巣(水疱内容物)	単純ヘルペスウイルス 1型
3/5	陰茎コンジローマ	記載なし	記載なし	陰部尿道頸管擦過物/分泌物	ヒトパピローマウイルス 6型

<感染症豆知識>

予防接種基本計画

平成 25 年 4 月に予防接種法が改正施行された。このなかには、これまでになかったものとして「予防接種基本計画の策定」がある。基本計画に挙げられている項目は、以下のようになっている。

- ① 予防接種に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関する基本的な方向
- ② 国、地方公共団体その他関係者の予防接種に関する役割分担に関する事項
- ③ 予防接種に関する施策の総合的かつ計画的な推進に係る目標に関する事項
- ④ 予防接種の適正な実施に関する施策を推進するための基本的事項
- ⑤ 予防接種の研究開発の推進及びワクチンの供給の確保に関する施策を推進するための基本的事項
- ⑥ 予防接種の有効性及び安全性の向上に関する施策を推進するための基本的事項
- ⑦ 予防接種に関する国際的な連携に関する事項
- ⑧ その他予防接種に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関する重要事項

①には、基本的理念として「予防接種は、疾病予防という公衆衛生の観点、個人の健康保持の観点から、社会や国民に大きな利益をもたらしてきた一方、極めてまれではあるが不可避免的に生ずる予防接種の副反応による健康被害をもたらしてきた。このような事実についての十分な認識を踏まえ、国民の予防接種及びワクチンに関する理解と認識を前提として、わが国の予防接種施策の基本的な理念は<予防接種・ワクチンで防げる疾病は予防すること>」とある。また「予防接種施策の推進を図るに当たっては、感染症そのものの発生及びまん延防止の効果、副反応による健康被害のリスクについて、利用可能な疫学情報等を含めた科学的根拠を基に比較衡量を行う。」としている。

この基本計画策定は平成 26 年 4 月 1 日より実施となった。理念倒れにならず、人々の健康な生活を支える実際のものとしていくのはこれからである。各方面のご理解とご支援をいただきたい。

(文責 川崎市健康安全研究所長 岡部信彦)